

救 助 隊

隊員は、災害現場に応じて、救助器具を使いわけながら活動します。

① エンジンカッター

② チェーンソー

金属や木材を切るときに使います。鍵がかかっているドアや屋根などを切り、隊員が中に進入できるようにします。



③ マット型空気ジャッキ

ゴム製のマットに空気を送り込み、車などの重い物を持ち上げ、下敷きになった人を助けます。



④ 酸素溶断機

金属棒をホースの先につけ、酸素と一緒に燃やしながら焼き切ることができます。



⑤ 送排風機

空気を送ったり排出したりします。



⑥ 大型油圧救助器具

交通事故などでつぶれた車の中から救助するときなどにドアなどを広げたり切るときに使います。



⑦ 化学防護服・放射線防護服

有害な化学物質、細菌や放射線のもれなどによる災害現場で使用します。なお、写真は化学防護服を掲載しています。

救助工作車

この車は4輪駆動車でクレーン、ウィンチ及び照明装置を装備し、大型油圧救助器具や高度救助資器材などをのせ、災害現場での救助活動に活用しています。

活動範囲は火災や事故などのほかに、有害な化学物質、細菌や放射線物質などによる災害現場に対応ができます。



上から見ると…



⑫ 小型クレーン
最大約3トンの物をつり上げることができます。

支援車



大きな災害が起こった時などに支援活動を行います。

資機材搬送車



おぼれたりした人を救助するための道具を運びます。

⑧ はしご

長さは約9メートルです。

⑨ ウィンチ

前に油圧式、後部には電動モーター式のウィンチがあり、最大5トンの物を引っ張ることができます。

⑩ 照明装置

夜の災害現場を明るく照らします。

⑪ 救助艇

水難事故の救助に使います。

訓練のようす

いろいろな器具を使って救出する訓練をしています。



全国の救助隊員が日頃の訓練成果を披露する大会も行われているんだよ!!

